

平成28年度 資格スクール大栄
第143回日商簿記検定試験 模範解答

1 級 ①

商 業 簿 記

問 1

(単位：千円)

①	②	③	④
○ 32,679	○ 991,000	○ 91,000	○ 320,000

問 2

損 益 計 算 書

(単位：千円)

I. 営 業 収 益		
1. 商 品 売 上 高	(○ 800,000)	
2. 受 取 手 数 料	(○ 184,000)	(984,000)
II. 営 業 費 用		
1. 商 品 売 上 原 価	(○ 678,500)	
2. 販 売 費	30,000	
3. 貸倒引当金繰入	(○ 5,770)	
4. 給 料 手 当	25,000	
5. 退 職 給 付 費 用	(○ 21,280)	
6. 一 般 管 理 費	20,000	
7. 支 払 リ ー ス 料	(13,000)	
8. 減 価 償 却 費	(○ 90,893)	(884,443)
営 業 利 益		(99,557)
III 営 業 外 収 益		
1. 有 価 証 券 利 息	(○ 600)	
2. 受 取 配 当 金	(800)	(1,400)
IV 営 業 外 費 用		
1. 支 払 利 息	(○ 1,116)	
2. 社 債 利 息	(○ 17,000)	(18,116)
経 常 利 益		(82,841)
V 特 別 利 益		
1. 投資有価証券売却益		(○ 4,000)
税引前当期純利益		(86,841)
法人税、住民税及び事業税	(35,000)	
法人税等調整額	(◎ △ 4,815)	(30,185)
当 期 純 利 益		(56,656)

問 3

(単位：千円)

a.	b.	c.	d.
○ 121,500	○ 11,429	○ 100,750	○ 11,000

e.	f.	g.
◎ 24,000	○ 370,000	◎ 3,549

◎1 つにつき 2 点、○1 つにつき 1 点 合計 25 点
(配点は、当学院の予想です)

平成28年度 資格スクール大栄
第143回日商簿記検定試験 模範解答

1 級 ②

会 計 学

第1問

(1)	(2)	(3)
<input type="radio"/> 使用価値	<input type="radio"/> 時価ヘッジ	<input type="radio"/> 希薄化
(4)	(5)	
<input type="radio"/> 移転損益	<input type="radio"/> 実績主義	

○1につき1点 合計5点
(配点は、当学院の予想です)

第2問

設問1. のれんをS社の修正仕訳で計上する方法によった場合、20X5年度末の円貨換算後のS社貸借対照表における次の金額を求めなさい。

① のれん	② 繰延税金負債	③ 資本金
◎ 106,920 千円	○ 24,000 千円	○ 143,000 千円
④ 繰越利益剰余金	⑤ 為替換算調整勘定	
◎ 112,915 千円	○ 33,105 千円	

設問2. 20X5年度末の日本商工株式会社の連結貸借対照表における為替換算調整勘定の金額を求めさい。

○ 23,625 千円

設問3. 20X5年度末の日本商工株式会社の連結貸借対照表における非支配株主持分の金額を求めさい。

◎ 129,600 千円

○1につき1点 4点
◎1につき2点 6点
(配点は、当学院の予想です)

第3問

設問1. 20X1年度の工事収益の金額を求めなさい。

◎ 10,500 百万円

設問2. 20X2年度決算日における工事開始時点からの工事進捗率を求めなさい。

○ 48 %

設問3. 20X2年度の工事損益の金額を求めなさい。

◎ 660 百万円

設問4. 20X3年度末の工事未収入金の金額を求めなさい。

◎ 1,270 百万円

設問5. 20X3年度末の工事損失引当金の金額を求めなさい。

◎ 230 百万円

設問6. 20X4年度末の工事原価の金額を求めなさい。

○ 11,730 百万円

○1につき1点 2点
◎1につき2点 8点
(配点は、当学院の予想です)

平成28年度 資格スクール大栄
第143回日商簿記検定試験 模範解答

1 級 ③

工業簿記

第1問

問1

3,168,000 円

問2

(1) 36,480,000 円

(2) 72,960 円 (借方・貸方) 差異

(注) () 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

問3

(1) 17,356,800 円

(2) 110,000 円/ロット

(3) 467,680 円 (借方・貸方) 差異

(注) () 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

問4

(1) 25,080,000 円

(2) 21,098,000 円

問5

(1) 1,705,960 円 (借方・貸方) 差異

(注) () 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

(2) 2,166,000 円 (借方・貸方) 差異

(注) () 内は「借方」か「貸方」のいずれかを○で囲みなさい。

問6

① ④ ⑤ ⑦

予想配点 問1～問5 各2点
問6 1点

第2問

①	仕損費	予定配賦額	加工費	異常仕損費	原価差異
②	材料受入価格差異	異常仕損費	非原価項目	処分価額	操業度差異
③	完成品	売上原価	営業外費用	材料消費高	良品
④	科目別	指図書別	組別	等級別	部門別

予想配点 ①～④ 各1点

平成28年度 資格スクール大栄
第143回日商簿記検定試験 模範解答

1 級 ④

原 価 計 算

問 1

①	工程管理	検 査	補 修
②	連 産 品	副 産 物	仕 損 品
③	補 修	修 理	
④	補 修	修 理	
⑤	120,000 (万円)		
⑥	3 (%)		

予想配点 ①～④ 各1点
⑤および⑥ 各2点

問 2

⑦	意思決定	業績評価	予算管理
⑧	原価差異分析	差額原価収益分析	CVP分析
⑨	2,000 (万円)		
⑩	12,190 (万円)		
⑪	1,100 (万円)		
⑫	18,650 (万円)		
⑬	第1案	第2案	
⑭	7,360 (万円)		

予想配点 ⑦⑧⑬ 各1点
⑭ 2点
⑨～⑫ 各3点

商業簿記 解説

問1・問2

[資料2] 決算整理事項等（仕訳の単位：千円）

1. 前受金について

(借方)	前	受	金	21,000	(貸方)	売	掛	金	21,000
------	---	---	---	--------	------	---	---	---	--------

2. 代理店販売について

(借方)	商	品	売	上	200,000	(貸方)	商	品	売	上	原	価	182,000
						(貸方)	受	取	手	数	料	18,000	

3. 期末商品について

(借方)	商	品	売	上	原	価	500	(貸方)	商	品	500
------	---	---	---	---	---	---	-----	------	---	---	-----

商品評価損：8,000千円－正味売却価額7,500千円(=7,700千円－200千円)=500千円

4. 貸倒引当金について

(借方)	貸	倒	引	当	金	1,500	(貸方)	売	掛	金	1,500
------	---	---	---	---	---	-------	------	---	---	---	-------

(借方)	貸	倒	引	当	金	繰	入	5,770	(貸方)	貸	倒	引	当	金	5,770
------	---	---	---	---	---	---	---	-------	------	---	---	---	---	---	-------

貸倒引当金見積高

一般債権：(144,000千円－21,000千円－1,500千円－8,000千円)×2%=2,270千円

貸倒懸念債権：8,000千円×50%=4,000千円

貸倒引当金繰入額

(2,270千円+4,000千円)－(2,000千円－1,500千円)=5,770千円

5. 退職給付引当金について

(借方)	退	職	給	付	引	当	金	26,000	(貸方)	退	職	給	付	26,000
------	---	---	---	---	---	---	---	--------	------	---	---	---	---	--------

(借方)	退	職	給	付	費	用	21,280	(貸方)	退	職	給	付	引	当	金	21,280
------	---	---	---	---	---	---	--------	------	---	---	---	---	---	---	---	--------

前T/B退職給付引当金残高(問1③)：退職給付債務267,000千円－年金資産152,000千円

－未認識数理計算上の差異(不利利差異)24,000千円=91,000千円

退職給付費用：勤務費用17,500千円＋利息費用5,340千円*1－期待運用収益4,560千円*2

＋未認識数理計算上の差異の費用処理額3,000千円*3=21,280千円

*1 利息費用：267,000千円×2%=5,340千円

*2 期待運用収益：152,000千円×3%=4,560千円

*3 未認識数理計算上の差異の費用処理額：24,000千円÷(10年－2年)=3,000千円

6. その他有価証券(J社株式)について

(1) 再振替仕訳

(借方)	繰	延	税	金	負	債	1,500	(貸方)	そ	の	他	有	価	証	券	5,000
------	---	---	---	---	---	---	-------	------	---	---	---	---	---	---	---	-------

(借方)	そ	の	他	有	価	証	券	評	価	差	額	金	3,500
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-------

評価差額：30,000千円－25,000千円=5,000千円

繰延税金負債：5,000千円×30%=1,500千円

その他有価証券評価差額金：5,000千円－1,500千円=3,500千円

(2) 売却処理

(借方)	仮	受	金	29,000	(貸方)	そ	の	他	有	価	証	券	25,000
------	---	---	---	--------	------	---	---	---	---	---	---	---	--------

(貸方)	投	資	有	価	証	券	売	却	益	4,000
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-------

7. その他有価証券(K社社債)について

(1) 再振替仕訳

(借方)	繰	延	税	金	負	債	75	(貸方)	そ	の	他	有	価	証	券	250
------	---	---	---	---	---	---	----	------	---	---	---	---	---	---	---	-----

(借方)	そ	の	他	有	価	証	券	評	価	差	額	金	175
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----

20X4年度末帳簿価額(償却原価)：9,600千円－(10,000千円－9,600千円)× $\frac{2\text{年}}{4\text{年}}$ =9,800千円

評価差額：10,050千円－9,800千円=250千円

繰延税金負債：250千円×30%=75千円

その他有価証券評価差額金：250千円－75千円=175千円

(2) 期末評価

(借方) そ の 他 有 価 証 券	100	(貸方) 有 価 証 券 利 息	100
(借方) そ の 他 有 価 証 券	180	(貸方) 繰 延 税 金 負 債	54
		(貸方) そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	126

当期償却額：(10,000千円－9,600千円)÷4年＝100千円

評価差額：10,080千円－(9,800千円＋100千円)＝180千円

繰延税金負債：180千円×30%＝54千円

その他有価証券評価差額金：180千円－54千円＝126千円

8. リースについて

(借方) 支 払 利 息	1,116	(貸方) 支 払 リ ー ス 料	12,000
(借方) リ ー ス 債 務	10,884		
(借方) 減 価 償 却 費	10,893	(貸方) リース資産減価償却累計額	10,893

リース資産(問1①)：12,000千円÷(1+0.05)+12,000千円÷(1+0.05)²+12,000千円÷(1+0.05)³
 ≒32,679千円(千円未満四捨五入)

支払利息：22,313千円×5%≒1,116千円(千円未満四捨五入)

リース債務：12,000千円－1,116千円＝10,884千円

減価償却費：32,679千円÷3年＝10,893千円

9. 建物について

(借方) 減 価 償 却 費	80,000	(貸方) 建 物 減 価 償 却 累 計 額	80,000
----------------	--------	------------------------	--------

期首減価償却累計額(問1④)：960,000千円× $\frac{4\text{年}}{12\text{年}}$ ＝320,000千円

当期減価償却費：960,000千円÷12年＝80,000千円

10. 新株予約権付社債について

(借方) 社 債 利 息	3,000	(貸方) 社 債	3,000
--------------	-------	----------	-------

前T/B社債(問1②)：1,000,000千円× $\frac{98.5\text{円}}{100\text{円}}$ +1,000,000千円× $\frac{100\text{円}-98.5\text{円}}{100\text{円}}$ × $\frac{2\text{年}}{5\text{年}}$ ＝991,000千円

償却額：1,000,000千円× $\frac{100\text{円}-98.5\text{円}}{100\text{円}}$ × $\frac{1\text{年}}{5\text{年}}$ ＝3,000千円

11. 新株予約権の権利行使について

(借方) 仮 受 金	100,000	(貸方) 資 本 金	50,750
(借方) 新 株 予 約 権	1,500	(貸方) 資 本 準 備 金	50,750

新株予約権：15,000千円×10%＝1,500千円

資本金及び資本準備金：(100,000千円+1,500千円)÷2＝50,750千円

12. 法人税等について

(借方) 法人税、住民税及び事業税	35,000	(貸方) 未 払 法 人 税 等	35,000
-------------------	--------	------------------	--------

13. 税効果について

(借方) 繰 延 税 金 資 産	4,815	(貸方) 法 人 税 等 調 整 額	4,815
------------------	-------	--------------------	-------

当期末における将来減算一時差異

未払事業税：3,000千円

貸倒引当金(解説4.より)：2,270千円+4,000千円＝6,270千円

商品評価損(解説3.より)：500千円

建物(解説9.より)：(320,000千円+80,000千円)－960,000千円× $\frac{5\text{年}}{15\text{年}}$ ＝80,000千円

退職給付引当金(解説5.より)：91,000千円－26,000千円+21,280千円＝86,280千円

合 計 176,050千円

法人税等調整額：176,050千円×30%－48,000千円＝4,815千円

14. 剰余金の配当について

(借方)	繰越利益剰余金	1,000	(貸方)	利益準備金	1,000
	利益準備金積立額				

$$\textcircled{1} \quad 500,000 \text{千円} \times \frac{1}{4} - (50,000 \text{千円} + 20,000 \text{千円}) = 55,000 \text{千円}$$

$$\textcircled{2} \quad 10,000 \text{千円} \times \frac{1}{10} = 1,000 \text{千円}$$

$$\textcircled{3} \quad \textcircled{1} > \textcircled{2} \quad \therefore 1,000 \text{千円}$$

15. 自己株式の消却について

(借方)	その他資本剰余金	5,000	(貸方)	自己株式	5,000
------	----------	-------	------	------	-------

問3

a 売掛金：144,000千円－21,000千円(解説1.)－1,500千円(解説4.)＝121,500千円

b リース債務：22,313千円－10,884千円(解説8.)＝11,429千円

c 資本準備金：50,000千円＋50,750千円(解説11.)＝100,750千円

d その他資本剰余金：16,000千円－5,000千円(解説15.)＝11,000千円

e 財務活動によるキャッシュ・フロー

収入：株式の発行100,000千円

支出：自己株式の取得40,000千円＋配当期の支払い10,000千円＋リース料の支払い12,000千円

＋利息(社債)の支払い14,000千円＝76,000千円

※ オペレーティング・リースのリース料は営業活動によるキャッシュ・フローとなる。

財務活動によるキャッシュ・フロー：100,000千円－76,000千円＝24,000千円

f 繰越利益剰余金期首残高：360,000千円＋10,000千円(資料2)＝370,000千円

g 評価・換算差額等当期変動額(純額)

減少：3,675千円

増加：126千円(解説7.(2))

純額：126千円－3,675千円＝3,549千円

会計学 解説

第1問

模範解答参照

第2問

設問1 のれんをS社の修正仕訳で計上する方法

1. 取得日(20X5年3月31日)

(1) S社修正仕訳

① 諸資産に係る評価差額の計上

(借方) 諸 資 産 500 (貸方) 繰 延 税 金 負 債 200
(貸方) 評 価 差 額 300

評価差額：3,600千ドル－3,100千ドル＝500千ドル

繰延税金負債：500千ドル×40%＝200千ドル

② のれんの計上

(借方) の れ ん 990 (貸方) の れ ん 評 価 勘 定 990

外貨で把握されたのれんをS社の資産として計上し、発生時の相手勘定を便宜的に「のれん評価勘定」としてS社の資本に計上する。

のれん計上額：2,250千ドル－(1,300千ドル＋500千ドル＋300千ドル)×60%＝990千ドル

③ S社修正後貸借対照表

S社修正後貸借対照表

科 目	外貨	レート	円貨	科 目	外貨	レート	円貨
諸 資 産	3,600	110	396,000	諸 負 債	1,300	110	143,000
の れ ん	990	110	108,900	繰 延 税 金 負 債	200	110	22,000
				資 本 金	1,300	110	143,000
				繰越利益剰余金	500	110	55,000
				評 価 差 額	300	110	33,000
				のれん評価勘定	990	110	108,900
				為替換算調整勘定			0
	4,590		504,900		4,590		504,900

④ 連結修正仕訳

(借方) 資 本 金 143,000 (貸方) 投 資 247,500
(借方) 利 益 剰 余 金 55,000 (貸方) 非 支 配 株 主 持 分 92,400
(借方) 評 価 差 額 33,000
(借方) の れ ん 評 価 勘 定 108,900

非支配株主持分：(143,000千円＋55,000千円＋33,000千円)×40%＝92,400千円

2. 翌年度(20X6年3月31日)

(1) S社修正仕訳

① 諸資産に係る評価差額の計上

(借方) 諸 資 産 500 (貸方) 繰 延 税 金 負 債 200
(貸方) 評 価 差 額 300

評価差額：3,600千ドル－3,100千ドル＝500千ドル

繰延税金負債：500千ドル×40%＝200千ドル

② のれんの計上

(借方) の れ ん 990 (貸方) の れ ん 評 価 勘 定 990

外貨で把握されたのれんをS社の資産として計上し、発生時の相手勘定を便宜的に「のれん評価勘定」としてS社の資本に計上する。

のれん計上額：2,250千ドル－(1,300千ドル＋500千ドル＋300千ドル)×60%＝990千ドル

③ のれんの償却

(借方) の れ ん 償 却 99 (貸方) の れ ん 99

のれん償却：990千ドル÷10年＝99千ドル

④ S社修正後貸借対照表

S社修正後貸借対照表

科 目	外貨	レ-ト	円貨	科 目	外貨	レ-ト	円貨
諸 資 産	4,200	120	504,000	諸 負 債	1,300	120	156,000
の れ ん	891	120	106,920	繰 延 税 金 負 債	200	120	24,000
				資 本 金	1,300	110	143,000
				繰越利益剰余金	1,001		112,915
				評 価 差 額	300	110	33,000
				のれん評価勘定	990	110	108,900
				為替換算調整勘定			33,105
	5,091		610,920		5,091		610,920

繰越利益剰余金：55,000千円＋当期純利益700千ドル×115円（A R）

－配当100千ドル×112円（H R）－のれん償却99千ドル×115円（A R）＝112,915千円

為替換算調整勘定：貸借差額

設問2

(1) のれんを連結修正仕訳で計上する方法

S社修正後貸借対照表

科 目	外貨	レ-ト	円貨	科 目	外貨	レ-ト	円貨
諸 資 産	4,200	120	504,000	諸 負 債	1,300	120	156,000
の れ ん				繰 延 税 金 負 債	200	120	24,000
				資 本 金	1,300	110	143,000
				繰越利益剰余金	1,100		124,300
				評 価 差 額	300	110	33,000
				為替換算調整勘定			23,700
	4,200		504,000		4,200		610,920

繰越利益剰余金：55,000千円＋当期純利益700千ドル×115円（A R）

－配当100千ドル×112円（H R）＝124,300千円

為替換算調整勘定：貸借差額23,700千円

(2) 為替換算調整勘定の非支配株主持分の振替え

(借方) 為 替 換 算 調 整 勘 定 9,480 (貸方) 非 支 配 株 主 持 分 9,480

23,700千円×40%＝9,480千円

∴ 為替換算調整勘定残高：33,105千円－9,480千円＝23,625千円

設問3

当期首残高：92,400千円

(＋) 当期純利益の振替え：当期純利益700千ドル×115円（A R）×40%＝32,200千円

(－) 配当金の振替え：配当100千ドル×112円（H R）×40%＝4,480千円

(＋) 為替換算調整勘定の振替え：9,480千円

当期末残高：129,600千円

第3問（仕訳の単位：百万円）

設問1

$$\text{工事収益} : 50,000 \text{百万円} \times \frac{9,240 \text{百万円}}{44,000 \text{百万円}} (21\%) = 10,500 \text{百万円}$$

設問2

$$\text{工事進捗度} : \frac{9,240 \text{百万円} + 12,840 \text{百万円}}{46,000 \text{百万円}} \times 100 = 48\%$$

設問3

$$\text{工事収益} : 50,000 \text{百万円} \times 48\% - 10,500 \text{百万円} = 13,500 \text{百万円}$$

$$\text{工事損益} : 13,500 \text{百万円} - 12,840 \text{百万円} = 660 \text{百万円}$$

設問4

$$20X3 \text{年度工事収益} : 51,000 \text{百万円} \times \frac{9,240 \text{百万円} + 12,840 \text{百万円} + 17,960 \text{百万円}}{52,000 \text{百万円}} (77\%)$$

$$- (10,500 \text{百万円} + 13,500 \text{百万円}) = 15,270 \text{百万円}$$

$$\text{工事収益合計} : 10,500 \text{百万円} + 13,500 \text{百万円} + 15,270 \text{百万円} = 39,270 \text{百万円}$$

$$\text{工事代金受領額合計} : 12,500 \text{百万円} + 12,500 \text{百万円} + 13,000 \text{百万円} = 38,000 \text{百万円}$$

$$\text{工事未収入金} : 39,270 \text{百万円} - 38,000 \text{百万円} = 1,270 \text{百万円}$$

設問5

$$\text{工事損失の見積額} : 51,000 \text{百万円} - 52,000 \text{百万円} = \triangle 1,000 \text{百万円}$$

工事損失引当金繰入額

見積工事損失	$\triangle 1,000 \text{百万円}$	
20X1年度損益計上額(一)	1,260百万円	$\leftarrow 10,500 \text{百万円} - 9,240 \text{百万円}$
20X2年度損益計上額(一)	660百万円	$\leftarrow 13,500 \text{百万円} - 12,840 \text{百万円}$
20X3年度損益計上額(一)	$\triangle 2,690 \text{百万円}$	$\leftarrow 15,270 \text{百万円} - 17,960 \text{百万円}$
工事損失引当金繰入額	<u>$\triangle 230 \text{百万円}$</u>	

設問6

$$\text{工事原価} : 11,960 \text{百万円} - 230 \text{百万円} = 11,730 \text{百万円}$$

工業簿記 解説

第1問(単位：円)

問1

製造間接費の予定配賦率：年間予算 181,440,000÷年間正常直接作業時間 54,000 時間＝@3,360

変動費率：年間予算 73,440,000÷年間正常直接作業時間 54,000 時間＝@1,360

固定費率：製造間接費の予定配賦率@3,360－変動費配賦率@1,360＝@2,000

1月の生産データ

仕 掛 品		製 品	
月初 0 ロット	完成	月初 0 ロット	販売
投入 400 ロット (380)	320 ロット	完成 320 ロット	320 ロット
	減損 40 ロット (28)		月末 0 ロット
	月末 40 ロット (32)		

正常減損費；A 原 料 費：11,520,000×40 ロット/400 ロット＝1,152,000

直接労務費：12,038,400×28 ロット/380 ロット＝887,040

製造間接費：@3,360×4,560 時間×28 ロット/380 ロット＝1,128,960

合 計：1,152,000＋887,040＋1,128,960＝3,168,000

問2

月末仕掛品原価；A 原 料 費：11,520,000×40 ロット/400 ロット＝1,152,000

直接労務費：12,038,400×32 ロット/380 ロット＝1,013,760

製造間接費：@3,360×4,560 時間×32 ロット/380 ロット＝1,290,240

減損負担分：3,168,000×40 ロット/360 ロット＝352,000

合 計：1,152,000＋1,013,760＋1,290,240＋352,000
＝3,808,000

完成品総合原価；A 原 料 費：11,520,000×320 ロット/400 ロット＝9,216,000

B 材 料 費：1,408,000

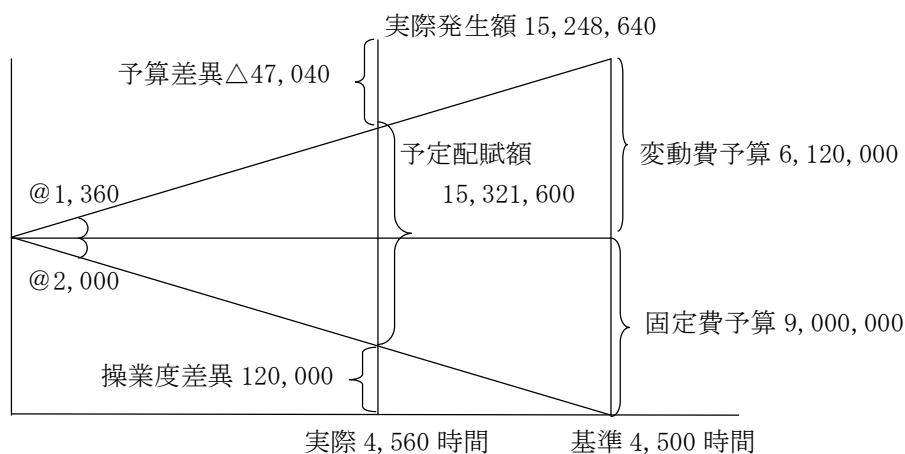
直接労務費：12,038,400×320 ロット/380 ロット＝10,137,600

製造間接費：@3,360×4,560 時間×320 ロット/380 ロット
＝12,902,400

減損負担分：3,168,000×320 ロット/360 ロット＝2,816,000

合 計：9,216,000＋1,408,000＋10,137,600＋12,902,400
＋2,816,000＝36,480,000

1月の原価差異



原価差異総額：予定配賦額 15,321,600－実際発生額 15,248,640＝72,960（貸方差異）

問3

2月の生産データ

仕 掛 品		製 品	
月初 40 ロット (32)	完成 256 ロット	月初 0 ロット	販売 220 ロット
投入 464 ロット (376)	仕損 8 ロット	完成 256 ロット	月末 36 ロット
	月末 240 ロット (144)		

仕損は終点で発生しているので、完成品のみが仕損費を負担する。

月末仕掛品原価；A 原料費：13,511,680×240ロット/464ロット=6,988,800

直接労務費：11,911,680×144ロット/376ロット=4,561,920

製造間接費：@3,360×4,512時間×144ロット/376ロット
=5,806,080

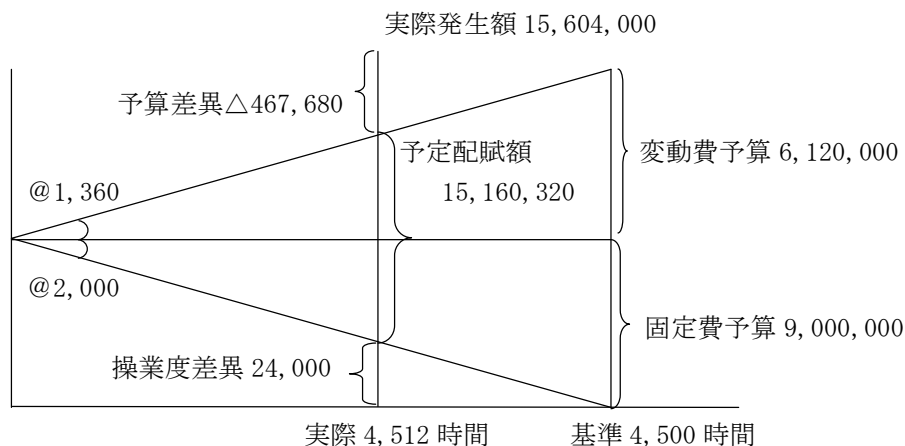
合 計：6,988,800+4,561,920+5,806,080=17,356,800

完成品総合原価：月初仕掛品原価 3,808,000+当月製造費用（A原料費 13,511,680
+B材料費 1,125,120+直接労務費 11,911,680+製造間接費
15,160,320）-月末仕掛品原価 17,356,800=28,160,000

完成品単位原価：28,160,000÷256ロット=110,000

月末製品原価：@110,000×36ロット=3,960,000

2月の原価差異



予算差異：予定許容額@1,360×4,512時間+9,000,000-実際発生額 15,604,000
=467,680（借方差異）

問4

3月の生産データ

仕 掛 品		製 品	
月初 240 ロット (144)	完成 240 ロット	月初 36 ロット	販売 200 ロット
投入 368 ロット (280)	月末 368 ロット (184)	完成 240 ロット	月末 76 ロット

月末仕掛品原価；A 原料費：10,669,792

直接労務費：8,086,400×184ロット/280ロット=5,313,920

製造間接費：@3,360×3,345時間×184ロット/280ロット
=7,385,760

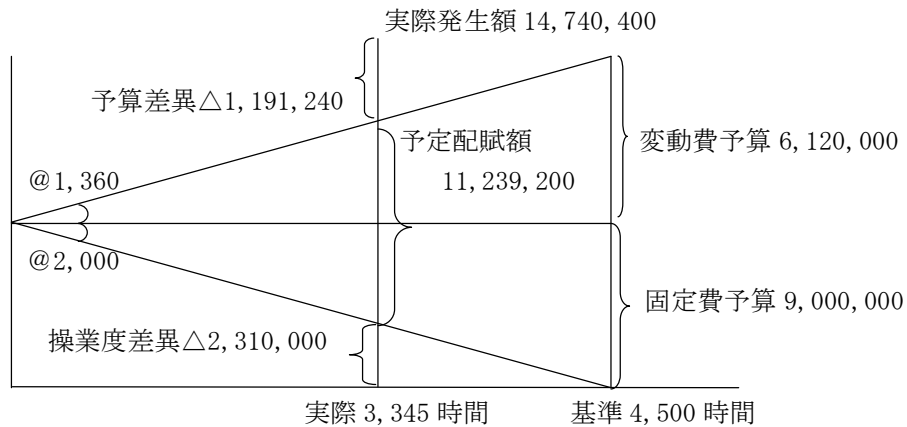
合 計：10,669,792+5,313,920+7,385,760=23,369,472

完成品総合原価：月初仕掛品原価 17,356,800 + 当月製造費用（A原料費 10,669,792
+ B材料費 1,097,280 + 直接労務費 8,086,400 + 製造間接費
11,239,200）－月末仕掛品原価 23,369,472 = 25,080,000

月末製品原価：25,080,000 × 76 ロット / 240 ロット = 7,942,000

売上原価：月初製品原価 3,960,000 + 当月完成品総合原価 25,080,000 － 月末製品原価
7,942,000 = 21,098,000

3月の原価差異



問5

予算差異累計額

1月 47,040（借方差異） + 2月 467,680（借方差異） + 3月 1,191,240（借方差異） = 1,705,960（借方差異）

操業度差異累計額

1月 120,000（貸方差異） + 2月 24,000（貸方差異） + 3月 2,310,000（借方差異） = 2,166,000（借方差異）

問6

解答参照

第2問

原価計算基準 47 参照

原価計算 解説

問1 (単位：万円)

①～④解答参照

⑤ 設計技術費 20,000 + 工程技術費 13,500 + 検査費 @0.3 × 20 万台 × 0.5 時間/台
+ 補修費 @12.25 × 20 万台 × 1 % + 顧客サポート費 @2.5 × 20 万台 × 0.5 % + 製品回収・
部品交換費 @17 × 20 万台 × 0.5 % + 保証修理費 @12.5 × 20 万台 × 0.5 % = 120,000

⑥ 品質原価総額 120,000 ÷ 売上高 4,000,000 = 3 %

問2 (単位：万円)

⑦～⑨解答参照

⑩ 補修費 @7.25 × 600 台 + 顧客サポート費 @1.3 × 300 台 + 製品回収・部品交換費
@15 × 300 台 + 保証修理費 @5.5 × 300 台 + 利益増加額 @13 × 100 台 = 12,190

⑪ 設計技術費 @0.5 × 1,000 時間 + 工程技術費 @0.3 × 2,000 時間 = 1,100

⑫ 補修費 @7.25 × 800 台 + 顧客サポート費 @1.3 × 500 台 + 製品回収・部品交換費
@15 × 500 台 + 保証修理費 @5.5 × 500 台 + 利益増加額 @13 × 150 台 = 18,650

⑬および⑭

第1案

原価節約額・利益増加額 12,190 - 追加的に発生する品質原価 2,000 = 10,190

第2案

原価節約額・利益増加額 18,650 - 追加的に発生する品質原価 1,100 = 17,550

よって、第2案の方が 7,360 (17,550 - 10,190) 有利なため第2案を採用すべきである。